

## 黒檜山山行報告

【山行日】2017年1月28日(土) 晴れ  
【集合】岩舟支所P AM 6:00  
【費用】マイカー1台 : 1,500円  
【メンバー】CL:鈴木ユ 石川、稲葉、大西、津佐  
【コースタイム】岩舟支所P6:00=おのこP  
8:10/8:30~黒檜山登山口 8:50/9:00~黒檜山  
10:20/10:40~駒ヶ岳 11:30/12:00~おのこ  
P12:50/13:05=あいの山の湯 13:40/15:00=  
岩舟支所P16:30

今シーズン5回目の雪山トレーニングは、赤城の黒檜山を計画した。2日前までは荒天の天気予報であったが、前日には「お出かけ日和」の天気予報に変わってくれた。岩舟支所からおのこ駐車場への道は、2日前に通っているのので運転手は余裕を持ってハンドルをさばっていた。大沼湖畔の道路からこれから登る黒檜山が見え、霧氷で真白く輝く山頂に心が躍る。予定通りおのこ駐車場に着くと、車が十数台止まっている。天気が好転したので、登山者が多くな



なったようだ。我々も支度を整え、ストレッチを済ませて出発する。

駐車場を出て左に進み、道路を20分ほど歩くと黒檜山登山口に着き、アイゼンを付ける。登山口からいきなり急登になるが、しっかりしたトレースが付いておりアイゼンが良く効き登り易い。15分ほど頑張ると展望の良い尾根に出て、大沼や地蔵岳の展望が素晴らしい。衣服調整と水分補給をし、展望を楽しみながら休憩する。岩の間を登ると霧氷の林の中を歩くようになり、朝日を受けて輝く純白の世界に歓声が上がります。

段々急傾斜になり、O嬢が遅れるが霧氷の写真を撮りながら追いつくのを待つ。最後の急登を登り切ると傾斜が緩くなり、駒ヶ岳への分岐がある尾根に着いた。

尾根からは日光白根山や皇海山、袈裟丸山が見え、息を整えながら写真を撮る。ここから黒檜山頂までは、平坦な尾根を歩いて行く。平坦になるとO嬢が先頭に立ち、登りの足取りが嘘のように元気に歩く。黒檜山山頂に着き、記念写真を撮ったら少し先のビューポイントへ向かう。山頂から北へ3分程歩くと、上州武尊山や谷川連峰の眺望がすばらしい展望台に出る。眺望を楽しみ記念写真を撮ったら、風のない東側に移動しおやつタイム。日光連山の展望を楽しみながら、味噌饅頭を食べ、温かいお茶で体を暖める。登山者が次々と登って来るので、場所を譲り駒ヶ岳に向かう。往路の分岐まで戻り、直進すると黒檜大明神が祀られた南峰で祠と鳥居がある。山行の無事をお願いし、南に向かって下って行く。前方に小沼や地蔵岳を見ながら快適に下り、下り切った鞍部が大タルミ。





立ち休みして駒ヶ岳への登りに備え、ゆっくりと登り返す。駒ヶ岳山頂に着き、記念写真を撮ったらランチタイム。お湯を沸かし各々持参したカップ麺を食べ、お茶を飲みながら眺望を楽しむ。雲海の上に筑波山から加波山が浮かび、立派な山容に皆驚いていた。若い3名は茨城県人なので、日ごろ見慣れている故郷の山の、立派な姿に見入っていた。今日は山頂では昼食は食べられないと予測していたが、思いがけない好天に恵まれ超ラッキー～。駒ヶ岳からの尾根は、本日一番の見どころで、迫力ある雪庇の上を爽快に歩ける。尾根の先端に標識があり、右に鉄階段を降りて行く。九十九折れの急坂を下ると、やがて傾斜が緩くなり道路に飛び出す。道路を右に少し進むとおのこ駐車場に戻った。アイゼンを外し、靴を履きかえ帰路につく。途中、あいのやまの湯に寄り、直売所で野菜や花を買ってから温泉に入る。料金が一般は510円だが、65歳以上は300円で入れとても得た気分。快晴の下雪山を楽しみ、ゆっくりと温泉に浸かり、明るいうちに岩舟支所に戻れ、大満足の雪山トレッキング山行となった。



おのこ駐車場に戻った。アイゼンを外し、靴を履きかえ帰路につく。途中、あいのやまの湯に寄り、直売所で野菜や花を買ってから温泉に入る。料金が一般は510円だが、65歳以上は300円で入れとても得た気分。快晴の下雪山を楽しみ、ゆっくりと温泉に浸かり、明るいうちに岩舟支所に戻れ、大満足の雪山トレッキング山行となった。

おのこ駐車場に戻った。アイゼンを外し、靴を履きかえ帰路につく。途中、あいのやまの湯に寄り、直売所で野菜や花を買ってから温泉に入る。料金が一般は510円だが、65歳以上は300円で入れとても得た気分。快晴の下雪山を楽しみ、ゆっくりと温泉に浸かり、明るいうちに岩舟支所に戻れ、大満足の雪山トレッキング山行となった。

